

謝辞

本叢書の執筆にあたり、基調となった共同研究（2019年～2023年）に前向きなインセンティブを与え、本書全体の内容構成に大きく影響を与えていただくこととなった、2016年に開催したアジア研究センター主催の連続講演会「アジアの自然環境と災害」において講演いただいた6名の講師の先生方（お名前は“はじめに”に記載）には、多様な観点からアジアの国々の自然災害環境や災害の特徴についてお話いただき大変参考となり感謝申し上げます。

また、共同研究の最終年度の2023年に開催したアジア研究センター公開研究討論会「国際協力と防災投資の重要性～研究討論会とパネルディスカッション～」において、話題提供いただき貴重な示唆をお示しくださった3名の先生方（お名前は“はじめに”に記載）には、本共同研究を締め括るに際して適切で貴重なお話をしていただき、一先ず共同研究をまとめることができたと感じている。心より感謝申し上げます。

なお、共同研究のメンバーが調査研究のために実施した内容で、お世話になった方々については、対応する各章の章末に謝辞として記載させていただいた。御礼申し上げます。

そして何より、当初本共同研究が予定した3年間の期間が新型コロナウイルス感染症の拡大により5年間に延長を余儀なくされたが、5年間を通して支援してくださったアジア研究センターのセンター長および所員の先生方を始め事務局の皆様に深く感謝している。

2025年3月
荅本 孝久